

**開催概要：**

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、その達成に向けて日本でもさまざまな取り組みがあります。産学官のステークホルダーがバランス良く所属する農業食料工学会において、その英知を結集して農業機械の視座からSDGsの目標達成に貢献できる可能性をアクター（主体）として共に考えてみましょう。

日時：2021年3月2日（火） 13:10～17:20

会場：リモート開催（Zoomでの実施を予定）

主催：一般社団法人 農業食料工学会

協賛：独立行政法人 国際協力機構（JICA）（依頼中）、農研機構 革新工学センター

企画：農業機械部会（一般社団法人 農業食料工学会）

定員：100名程度（都合により変更となる場合があります）

参加費：無料

※（一社）農業食料工学会への体験入会（会費3,000円、2022年3月末までの入会期間）のお申込みも受け付けます。セミナー後、非会員の参加者にはご案内を送付させていただきます。

参加申込方法：次のいずれかの方法でお申込みください。

①メールによる参加登録：nogyo-kikai-bukai（アットマーク）ml.affrc.go.jp

（所属・会員区分・氏名を明記の上でお申込みください、受領メールを送付いたします）

②FAXによる参加登録：048-654-7135（下記申込みフォームに記入後送付）

（受領連絡ができません、受領連絡をご希望の方はメールにてお申込みください）

申込み締切日：2021年2月26日（金）

申込みフォーム（FAX用）

ご所属	
会員区分	農業食料工学正会員・学生会員・非会員（法人会員含む）
氏名	

プログラム：

司会進行 農業機械部会 幹事長 吉永 慶太（農研機構）

開 会

13:10 開会挨拶 農業機械部会 部会長 長谷川 英夫（新潟大学）

基調講演

13:15 本邦農業機械メーカーの海外事業展開への期待  
農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ 未定

話題提供

13:55 アフリカにおける本邦企業の農業機械活用に関する調査  
-JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) での議論-  
独立行政法人 国際協力機構 経済開発部第5チーム 野口 伸一

14:35 休憩（15分）

14:50 ラストフロンティア・アフリカ～本邦企業の事業機会と戦略  
アイ・シー・ネット株式会社 事業開発部 荒井 弘正

15:25 サブサハラ・アフリカのコム生産倍増と農業機械の運用  
NPO 法人 IFPaT（国際農民参加型技術ネットワーク） 山口 浩司  
(株) かいほつマネジメント・コンサルティング 池ヶ谷 二美子

16:00 日本市場におけるロシア産大豆の現状  
太洋物産株式会社 大隅 心

16:35 休憩（15分）

総合討議

16:50 農業機械化を通じた SDGs への貢献に向けた農業食料工学会の役割  
座長 農業機械部会長 長谷川英夫（新潟大学）

閉会

17:20 閉会の辞 農業食料工学会 学会長 近藤 直（京都大学）

◆ プログラムは、講師、会場の都合により予告なく変更になる場合があります

問い合わせ先：

農業食料工学会・農業機械部会 幹事 原田 一郎 山崎 裕文  
（国研）農研機構 革新工学センター

TEL（直通）： 048-654-7105、FAX： 048-654-7135

メール：nogyo-kikai-bukai (アットマーク) ml. affrc. go. jp